日本唯一の石鉄隕石
在所隕石

画像提供：藤井旭さん
実物大の在所隕石

天から降ってきた石

明治31年2月1日、朴ノ木(旧在所村)の農家山中岩太郎氏の庭先に何かが落ちた。目撃者の話によると、「朝の４時頃であったと思う。その時、便所にいたが、急に空が明るくなって、南の方から北にむけて大砲を撃つような音と火の玉が飛び、空中で破裂して美しい火花のようになり、大きな音をたてて落ちた。朝、庭の一角の地面に穴があいていて、三尺以上（約１㍍）も金テコで掘り出したことを覚えている」ということだ。土陽新聞は当時の模様を「同日午前四時頃東南にあたって大きな音がきこえ、最初の一発最も太く、漸次小さくなって都合十数発を発したるより、土地の人々は驚き恐れて、何れも寝衣のまま、家内から外へ飛び出した」と報じている。当家の主人は、寝ていて「狸でも来てイタズラを・・・」と思うてまた寝た。翌朝、庭先に新しい穴があって、隣近所の者も来て、掘り起こすと茶色の石が出てきた。

「天降石か？」

この石は、当家の家内一同が神様のように思い、丁寧に箱に納めて祭っていたが、主人も亡くなると、昭和12年3月、土讃線開通記念南国土佐大博覧会へ帰省していた、東京五藤光学研究所長（プラネタリウムメーカー）五藤齊三氏（安芸市出身）が、土陽新聞を調べ「本物だ！」と確信し山中家長男から三百円で購入した。田舎では千円で立派な家が建てられたとは、この時代のことであろうか。

昭和20年5月、東京大空襲の際、五藤氏の家は全焼したが、その焼跡の灰の中から、五藤氏の夫人がこの石を掘り出し、翌26年、国立科学博物館理科学天文担当の村山技官に鑑定を依頼した。同技官の鑑定の結果、世界でも珍しい石鉄隕石（パラサイト）であることがわかった。現在、世界に約１万個ある標本の内５％ほどしかない貴重なものであった。昭和27年11月17日、村山、五藤両氏の一行は実地調査のため朴ノ木を訪れた。

「現在国立博物館には、日本に落ちたものの半分を保存、標本数にして16個ある。この在所隕石は隕石百個に一個しか発見することの出来ないダイヤより貴重なものである」と語った。

その後、昭和56年4月、香北町朴ノ木の隕石落下地点に記念碑が建立された。

▶隕石が落下した家の人々

▶昭和56年に五藤齊三氏が寄贈した石碑(現在、有光さん宅の庭)

落下地点⇒
香美市役所 香北支所
美良布保育園
子育てセンターぴらふ)
物部川
香北中
大宮小
大川上美良布神社
香美市立保健福祉センター香北
香美市立やなせたかし記念館「アンパンマンミュージアム」
道の駅美良布
香北町 良心市利用組合
土佐山田町

【在所隕石】
落下時重量　330ｸﾞﾗﾑ
落下時サイズ　6.9×5.7×4.2ｾﾝﾁ

在所隕石 里帰り展示会

10月31日～11月19日、香美市役所香北支所で『在所隕石 里帰り展示会』が開催され、1,000人を超える来場がありました。

展示された在所隕石は、国立科学博物館が研究用に保管している2ｾﾝﾁ程度の小さなかけらですが大変希少なもので、香美市の地に帰ってきました。

①

②③

①香美市に帰ってきた隕石のかけら。
「本物の隕石は思ったより存在感があった。美しい」「キラキラしてきれいだった」などの声がありました。
②落下時の大きさ・重さを再現した手作りの在所隕石レプリカ。
③星に関するさまざまなパネルを展示。
「全てのパネルの内容が興味深くためになりました」などの感想がありました。

★星空観望会

10月31日、天文講演会の後、高知天文ネットワークの協力を得て、香北中学校グラウンドで星空観望会が行われました。天の川は南天から北天のカシオペア座にかかり、織姫、彦星が天の川を挟んでいるのが肉眼でもはっきりと確認することができました。これには高知天文ネットワークのスタッフも「18時台でこの明かりのなさ。こんなに開けて観望できるところはない」と驚いていました。

★星のキャラクター

香北町美良布の商店街には星のキャラクターが描かれており、これは香美市出身のやなせたかし先生の作品です。

やなせ先生自身が故郷香北町を思い、描いた作品で、やなせ先生は「故郷には美しい星空がある」と思っていたことが想像できます。

★未来のコメットハンター

偶然にも天文講演会当日の高知新聞に、埇田凰紗(そねだおうさ)さん（山田小学校4年）が書いた「じまんの『香美市』」が掲載されていました。これは、5月18日に高知新聞に掲載された「小惑星『香美市』関さん命名」を読んでの感想です。埇田さんにとって関さんは憧れの人。これまでに4回会っており、自身の望遠鏡には関さんのサインが入っています。埇田さんは「関さんに出会ったおかげで、私は、いつか広い宇宙の中から新しい小惑星を見つけて、高知で有名なコメットハンターになって、自分が見つけた星を他の人にも見てもらいたいという夢をもつことができるようになりました。関さんには感しゃしています」と書いています。

いつか、埇田さんによって新しい『香美市の星』が誕生することを期待しています。

▲在所隕石の前で
埇田さん(写真左)と関さん